

中央・巖井排水区
大規模雨水処理施設整備事業計画

計 画 書

令 和 3 年 4 月

岡 山 市

中央・巖井排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>中央・巖井排水区では下水道を整備してから約70年が経過しており，合流管きよや当初処理場として整備され，現在は合流改善施設として運用している旭西排水センターなどの雨水処理施設の老朽化が進行している。これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため，集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：42mm/hr（現況） ・目標とする理由：現施設の計画降雨（5年確率降雨） ・ハード整備による整備水準の目標：53mm/hr（10年確率降雨） ・ハード・ソフト含めた対象降雨：約60mm/hr <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設163箇所の床上浸水を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：機能保全水深を20cmと設定する。 iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。 iv) その他：特になし <p>③ ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策 <p>合流区域である当該地区においては，増補管整備やポンプ場再構築などにより53mm/hr（10年確率降雨）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。</p> ii) ソフト対策及び自助 <p>当該地区では施設整備で対象とする降雨量を上回る20年に一度程度の降雨である約60mm/hrの降雨において，下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供，地域住民等による止水板設置など，それぞれの主体が対策を実施することにより，想定を上回る降雨に対しても，被害をできるだけ小さくする。</p>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (令和2年6月15日改訂済み) ・ 策定予定 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合流式ポンプ場の管理棟更新 ・ 合流式ポンプ場の自家発・受変電棟更新 ・ 合流式ポンプ場の自家発・受変電設備更新
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内水ハザードマップの配布 ・ 各戸貯留の設置促進 ・ 開発等行為に係る雨水流出抑制施設の設置促進 (岡山市戸別雨水流出抑制施設設置助成制度) ・ 止水板の設置促進 (岡山市止水板設置助成制度)
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山市浸水対策の推進に関する条例並びに条例施行規則を施行 (岡山市) ・ 『岡山市浸水対策基本計画』『岡山市浸水対策行動計画』を策定 (岡山市) ・ 用水路の水位事前調整 (区役所農林水産振興課ほか) ・ 土のうの配布 (河川防災室)
	自助・共助	ハード対策	市民・事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土のう, 止水板等の設置 ・ 各戸貯留施設, 雨水流出抑制施設の設置
		ソフト対策	市民・事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所, 避難経路等の確認 ・ 自主防災会の防災活動の活性化

年度計画 (百万円)

名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
旭西排水センター	910	1,590	900	3,400

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 38 年の設置から約 60 年が経過している当該地区の旭西排水センターの管理棟および受変電設備について、雨水排水機能を適切に確保する。(雨水：688m³/分，5 年確率降雨対応) ・ 改築更新により施設の長寿命化が図られるとともに，耐震・高潮対策も実施する。 <p>ソフト対策，自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップによる情報提供及び止水板の整備を併せて行い，想定を上回る降雨に対しても，浸水被害を最小限に抑える。</p>
放流先河川との調整状況	<p>放流先は国土交通省管理の一級河川旭川である。河川の流下能力，整備状況により制約を受けるが，河川管理者との協議により，放流同意済みである。</p>
その他	<p>改築更新については「岡山市公共下水道ストックマネジメント計画」に位置づけ，計画的に事業を実施している。</p> <p>また，本市では浸水対策を推進するための基本事項を定めた「岡山市浸水対策の推進に関する条例」を平成 29 年 4 月に施行した。</p> <p>これに基づく浸水対策の目標や基本方針を定めた「岡山市浸水対策基本計画」、実効性を担保し浸水対策を実現するための計画を定めた「岡山市浸水対策行動計画」を策定している。</p> <p>今回の旭西排水センター改築更新についても，基本計画、行動計画に位置づけ、計画的に事業を実施している。</p>